



ヒトにうれしいコト。



これまで、みなさまに「おいしさ」で
「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。
でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。

"美しい音色を聴いて、心が潤う"ことも、
"素晴らしい絵画を見て、心が動かされる"ことも、
私たちの暮らしになくてはならないこと。
これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。

Calbee

△ Anniversary 160th

LUDWIG VAN BEETHOVEN ADELAIDE
FRANZ JOSEPH HAYDN THE WANDERER
THE MERMAID'S SONG
FELIX MENDELSSOHN NEUE LIEBE
ALBAN BERG SCHLIESE MIR DIE AUGEN BEIDE
TIEFE SEHNSUCHT
TRAUM
ER KLARGT, DASS DER FRÜHLING SO KORTZ BLÜHT
FRAUE, DU SÜSSE
AUS 'JUGENDLIEDER'

二期会 2011/12 SEASON
ゴールデン
コンサート
in
津田ホール
今、届けたいメッセージ
VOL.33

加納悦子

MEZZOSOPRANO

2011年7月16日 [土]

16:00開演 15:30開場

長尾洋史 PIANO

ALBAN BERG SCHLAFEN, SCHLAFEN, NICHTS ALS SCHLAFEN
SCHLAFEND TRAGT MAN MICH
NUN ICH DER RIESEN STARKSTEN UBERWAND
WARM DIE LUFTE
AUS '4 LIEDER'
PIANO SONATA
"WOZZECK"

ARNOLD SCHOENBERG ERWARTUNG AUS '4 LIEDER'
GALATHEA
DER GENÜGSAME LIEBHABER
AUS 'BREITL-LIEDER'
HOCHZEITSLIED
FREIHALD
AUS '6 LIEDER'

主催

△ 株式会社 二期会 21

津田ホール
Tsuda Hall

協賛

Calbee カルビー株式会社

PROGRAM

ベートーヴェン	〈アデライーデ〉作品46
ハイドン	〈さすらい人〉「オリジナル・カンツォネッタ」から 〈人魚の歌〉「オリジナル・カンツォネッタ」から
メンデルスゾーン	〈新しい恋〉作品19-4
ベルク	〈わたしのまぶたを閉じてください〉 〈深い憧れ〉「若き日の歌」から 〈夢〉「若き日の歌」から 〈彼は春の花の命は短いと嘆く〉「若き日の歌」から 〈甘き人〉「若き日の歌」から 「四つの歌」作品2

PROFILE



加納悦子 MEZZOSOPRANO

かのう えつこ

磨き抜かれた圧倒的な歌唱力で、日本に於けるリート第一人者

東京都出身。東京藝術大学大学院を修了後、ドイツ国立ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。同大学在籍中にケルン市立歌劇場のオペラスタジオ研修生となり、94年から同歌劇場の専属歌手として契約。1995年ザルツブルグ国際モーツァルトコンクール声楽部門2位入賞。ケルン歌劇場ではジェームス・コンロン等の指揮で『フィガロの結婚』のケルビーノ、『蝶々夫人』のスズキ、『ヘンゼルとグレーテル』のヘンゼルなど40以上の演目に出演。ヨーロッパの他の歌劇場では、ドイツ・シュトゥットガルト州立歌劇場、シュヴェツィンゲン音楽祭、ベルギー・フランドルオペラ、オランダ・ロッテルダムのゲルギエフ・フェスティヴァル、スイス・ザンクトガレン歌劇場などに出演し、ヘンデル『アルチャーナ』のルジューロ、『コン・ファン・トゥッテ』のデスビーナ（指揮ルネ・ヤコブス）、また、ウルマンの『アトランティックの王』などの現代オペラにも出演。日生劇場開場40周年記念／二期会共催公演『ルル』では主要3役をこなし、柔軟性ある演技が絶賛された。2004年には新国立劇場公演ウルフ・シル

マー指揮『エレクトラ』に第三の下女役で出演し、続く05年にも同劇場小劇場『ザザ』アナーイデ、同劇場『ホフマン物語』ニクラウス／ミューズ、同劇場『魔笛』侍女IIで出演。また08年には、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『ばらの騎士』（A. ホモキ演出 東京二期会制作）オクタヴィアン役に大好評を博した。09年10月にびわ湖ホールオペラ『ルル』、11月に東京二期会『カブリッチョ』女優クレロン役2010年10月『トリストアンとイゾルデ』（びわ湖ホール）ブランゲーネに出演など話題作への出演が続き、いずれも高い評価を得ている。コンサート活動は、ヨーロッパを中心にルビアナ放送響とのマーラー「千人の交響曲」、ミラノ放送響とのモーツァルト「レクイエム」などのアルトソロ、また日本ではルネ・ヤコブス指揮バッハ「ロ短調ミサ」の第2ソプラノソロや97年ザルツブルグ音楽祭で、ハイドン「聖ミサ」のソロに出演。NHK交響楽団とはシャルル・デュトワ、ヘルベルト・ブロムシュテット指揮、ドビュッシー「選ばれた乙女」グリーグ「ペールギュント」、ブルックナー「ミサ」などのソロで98年より3シーズン連続共演した。2002年には、東京でモーツァルト・グランド・ガラに出演し、G. アルブレヒト指揮プラハ室内管弦楽団と共演、続いて新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートオペラ『ナクソス島のアリアドネ』（井上道義指揮・演出）で作曲家役を見事に演じ、喝采を浴びた。また、読売日本交響楽団40周年記念『パルジファル』オペラ公演(G. アルブレヒト指揮)に花の乙女役で出演。翌03年秋にはN響定期で「大地の歌」を歌い、内面を深く掘り下げた音楽が近年稀に見る演奏と高い評価を得た。05年に行われたG. アルブレヒト指揮による読響定期にて、読売日本交響楽団では、マンフレッド・ホーネック企画・構成・指揮による「モーツァルト〈レクイエム〉―死と再生」、東京交響楽団「モーリス・デュリュフレの響き」等で好評を博す。その他にもサントリー音楽財団作曲家の個展2008<<猿谷紀郎>>、09年もN響「真夏の夜の夢」、10年ベルリオーズ「夏の夜」(M.ブラッソン・東京フィル)の傑出した演奏で聴衆を魅了。11年新国立劇場『ばらの騎士』アンニーナ役でも絶賛された。「第九」等のソリストとしても確かな信頼を得ている。二期会会員



長尾洋史 PIANO

ながお ひろし

東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年パリ・エコールノルマルに留学。NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など主要オーケストラと共演。ソロ・リサイタルのほか、現代音楽分野では国内外の作品初演を多数手がけている。また「東京の夏」「サイトウ・カネン・フェスティヴァル」などの主要音楽祭の出演、また室内楽も積極的に行い、ミシェル・ベッケ（トロンボーン）、エリック・オビエ（トランペット）、ジャン＝イヴ・フルモー（サクソフォーン）、パーヴェル・ベルマン（ヴァイオリン）等の管弦楽器奏者との共演も多い。ソロCDは、「エボカシオン」「長尾洋史プレイズラヴェル&ドビュッシー」（ライヴノーツ）、最新CD「メシアン：アーメンの幻影／藤原亜美&長尾洋史」（コジマ録音）ではレコード芸術準特選盤に選ばれるなど高い評価を得ている。現在、国立音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。

© 茂木道夫

—休憩—

ベルク	〈ピアノソナタ〉作品1 『ヴォツェック』から演奏会用編曲版
シェーンベルク	〈期待〉「四つの歌曲」作品2-1 から 〈ガラテア〉「キャバレーソング」から 〈満足した恋人〉「キャバレーソング」から 〈婚礼の歌〉「六つの歌曲」作品3-4 から 〈自由な優しさ〉「六つの歌曲」作品3-6 から

PROGRAM NOTE

ドイツ・リートというジャンルは、正しくはKunstlied（藝術歌曲）と呼ばれる。芸術（Kunst）とは何か？ドイツ語でKunstは芸術、Künstlerは芸術家を意味する。では、その形容詞形のkünstlichは、人工的な、という意味になる。つまり、芸術とは、人工的な作業によって生まれるもの、言い方を変えれば、人間の意志が生み出すもの、という定義が成り立つ。人間の意志が生み出した言葉＝詩を、作曲家の意識が読み取り、意志をもって作曲する。その作品を、演奏者の意識が解釈し、意志をもって演奏し、聴衆の意識と意志、感情がそれを受け取る。その人間の意志の連鎖こそ、Künstlichな行為であり、正に「芸術的」な事象となる。

日本が誇るドイツ・リートの解釈者、加納悦子のプログラムは、ウィーン古典派から初期ロマン派と新ウィーン楽派の作品による。作曲家の意志に加納の意志が加わり、如何なる世界が生み出されるか！その扉が開く。

ベートーヴェン（1770～1827）
〈アデライーデ〉 作品46

ベートーヴェンにおいてリートは小さなジャンルでしかなかった。しかし、その中にはベートーヴェンらしい楽想に溢れたものも少なくない。マチソンの詩に作曲されたこの1曲も、そのひとつであろう。1795～6年頃、アルブレヒツベルガーに師事していた頃に作曲され、1797年2月に出版されている（詩人に献呈）。

ハイドン（1732～1809）
「オリジナル・カンツォネッタ」から
〈さすらい人〉 人魚の歌

ドイツ・リートの最初の「大作曲家」は、ハイドンであろう。1781年、84年にウィーンのアリア社から出版されたドイツ語の24曲の歌曲が最初の作品集。続く1794年、95年にロンドン滞在中のハイドンは、12曲の英語の歌曲を作曲する。それらの多くは、ロンドンの外科医ジョン・ハンターの妻アンの詩に作曲されたもので、「オリジナル・カンツォネッタ」と呼ばれている。この2曲も、アン・ハンターの美しい詩に作曲されたもの。

メンデルスゾーン（1809～1847）
〈新しい恋〉作品19aの4

キリスト教徒であるユダヤ系銀行家の子として生まれ、僅か38歳で没したメンデルスゾーンの歌曲は、彼の同時代のシューマンや年長のシューベルトと比べても、クラシカルな傾向が目立つ。この1曲は、1830年から34年に作曲家された作品19a

の中野もので、ハイネの詩に、生き生きとした生命力を与えている。

ベルク（1885～1935）
「若き日の歌」から

本屋の息子として生まれたベルクは、文学に親しみ、兄と妹が家庭音楽会で歌う家庭環境の中で音楽家への道を歩み始める。この兄妹のための作曲も含め、ベルクは1900年から08年までの間に、一説によると140曲とも言われる膨大な歌曲を生み出した。しかし、それらの多くは公表されず（ベルクの意志と未亡人ヘレーネが頑なに守ったのだ）、1985年の生誕100年を期に、やっと公にされた。ロマン派の流れを引く作風は、やがてシェーンベルクとの出会いによって、表現主義へと傾斜を深めて行く。

ベルク
「四つの歌」 作品2

シェーンベルクの門下の後期1908年に作曲されたこの作品は、彼の代表作「初期の7つの歌」同様、半音階的声部進行や、4度和声の多用によって、調性の曖昧な和声が用いられている。第1曲がフリードリヒ・ヘッベルの詩、残り3曲がアルフレード・モンベルトの詩に作曲されているが、第4曲では調性が用いられていない。

ベルク
〈ピアノ・ソナタ〉 作品1

シェーンベルク門下時代のこのピアノ・ソナタは、1907年から翌年にかけて作曲された。師の表現主義的傾向や対位法的手法を導入したこの曲は、師シェーンベルクと異なる甘美な叙情性をも兼備している。初めは全3楽章として構想したものの、第1楽章を書き上げた段階でシェーンベルクの助言で単一楽章のソナタとなった。

ベルク
『ヴォツェック』演奏会用編曲版から

1925年にベルリンで初演された『ヴォツェック』は、ビュヒナーの原作の社会劇・心理劇で、無調の手法を代表する傑作。ここでは一兵卒ヴォツェックの不貞の妻マリーの登場から子守唄のシーンまで歌われる。

シェーンベルク（1874～1951）
「四つの歌曲」から 〈期待〉作品2の1

ウィーンのユダヤ人商人の家庭に生まれたシェーンベルクは、ツェムリンスキーに師事し、後期ロマン派の影響下から、1906年頃から「無調音楽」へと独自の道を歩み始め、1921年には「12音

音楽評論家・合唱指揮者・声楽家 國土潤一

技法」へと到達する。習作期の1900年以前には多くの独唱曲が生み出されているが、作品番号1から3とされている歌曲群以降が、真のシェーンベルクの作曲家としての道標と呼ぶべきであろう。1899年に生み出された作品2の「四つの歌曲」は、第1曲「期待」を含め3曲がデーメルの詩に、第4曲「森の太陽」がシュラーフの詩に作曲された。1899年「浄夜」作品4も作品1から3の歌曲集も、当時は批判、抗議、中傷の対象となるものであった。

シェーンベルク
「キャバレー・ソング」から
〈ガラテア〉 〈満足した恋人〉

1901年、若きシェーンベルクは、オスカー・シュトラウスを通じて詩人エルンスト・ヴォルツォーゲンと出会い、彼のベルリンのキャバレー劇場の指揮者となり、これらの『ブレットリリーダー』が生み出された。フランク・ヴェーデキントの詩による〈ガラテア〉、フーゴー・ザールスの詩による〈満足した恋人〉は、共にこの曲集の代表作である。

シェーンベルク
「六つの歌曲」作品3より
〈婚礼の歌〉 〈自由な優しさ〉

1899年から1903年にかけて作曲された「六つの歌曲」は、1907年春、ウィーンで宮廷歌劇場の歌手とツェムリンスキーのピアノで初演された。第4曲〈婚礼の歌〉はベーター・ヤコブセン、第6曲〈自由な優しさ〉は、ヘルマン・リングの詩による。

▶今後のゴールデンコンサート

VOL.34 …… 11年8月23日(火)
福井敬 TENOR
福島明也 BARITONE
谷池重袖子 PIANO
19:00 開演 18:30 開場

VOL.35 …… 11年10月15日(土)
経種廉彦 TENOR
御部典一 PIANO
16:00 開演 15:30 開場

VOL.36 …… 12年3月17日(土)
佐々木典子 SOPRANO
千葉かほる PIANO
16:00 開演 15:30 開場